

南アフリカ 港湾の問題で果実輸出が停滞 栽培にも影響

FreshPlaza 2023年4月7日

ケープタウン港の問題のために、生産者らは新しい果樹園への植栽を遅らせており、それは新たな仕事の創出を妨げている。

最近の港湾における冷蔵スペースと電源コンセントの不足により、核果類(ネクタリン、アンズ、モモ等)の果実の貯蔵施設は梱包を停止せざるを得なくなった。農業貿易団体のホルトグロ(Hortgro)は、ケープタウン港の状況の改善に向けて引き続き取り組んでいるとしている。

同団体によると、核果類の生産者と輸出業者は依然としてケープタウン港の問題に不満を抱いており、一部の事業者は廃業することさえ考えている。

出荷上の課題、機器の破損及び物流上の懸念により、引き続き遅延が発生している。最近の例では、港の冷蔵スペースと電源コンセントが不足しているため、複数の核果類貯蔵施設で梱包作業の停止を余儀なくされた。

ホルトグロの最新のニュースレターによると、このセクターの主要関係者らは、港湾における果実団体のための私営の積み込みエリアの設置を可能にするために、港湾運営の部分的な民営化を提唱している。港の運営上の問題を支援するために専門家を手配するようという要請も出されている。

ステレンボッシュ町(西ケープ州)のアンドレ・ル・グランジという名の核果類生産者は、この種の果実は繊細で日持ちが悪い、そのためケープタウン港での遅延は、ヨーロッパに到着した後の日持ちと果実の品質に直接影響すると主張している。

これらの困難のために、生産者らは新しい果樹園の植栽を遅らせており、それは新たな仕事の創出を妨げている。最悪のシナリオでは、農業者は自分の財産を売却することを余儀なくされる。

たとえば、ル・グランジ氏は、スモモの新植を取りやめて、近隣市場向けのバターナツカボチャやアボカドなどに力を入れることとした。同氏はケープタウンの港に腐った果実を投げつけて抗議すると脅すほどである。

出典: [News24](#)

台湾 作物の違法輸出に刑罰を科す法案を閣議決定

FreshPlaza 2023年4月7日

台湾農業委員会の副主任委員(農業省の副大臣に相当)は、台湾のマンゴーパインがどのようにして中国本土に渡ったかを解明するのは難しいだろうと認めている。それでも、将来のこの種の窃盗に対抗するため、内閣は、特定の在来植物、果樹の苗木、種子またはそれらの派生物を違法に輸出した罪で有罪となった者に、最大3年間の刑務所への収監を規定する法案を承認した。

農業部の陳駿季副主任委員は、台湾の台中23号マンゴーパイン品種が盗まれ、中国で栽培されているという報告について問われ、このように発表した。陳氏は、3月16日に内閣が承認した植物品種及び種苗法の改正は、台湾の高品質な作物を台湾から出さないことを目的としていると述べた。

改正案が法律になるには立法院の承認が必要であるが、特定の苗木、その派生物、または関連する物品を取引した者は、3年以下の禁固または60万～300万台湾ドルの罰金、あるいはその両方を課される可能性があるとして規定している。[1台湾ドル = 約4.4円]

出典: [taipeitimes.com](#)